



ゆうあい、

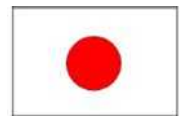
VOL.60

特別養護老人ホーム ゆうあいホーム / 大竹市養護老人ホーム ゆうあいの里 / ゆうあいホーム短期入所生活介護事業所 / デイサービスセンターゆうあいホーム / 訪問介護事業所ゆうあい / 居宅介護支援事業所ゆうあい / 訪問入浴介護事業所ゆうあい / 訪問看護事業所ゆうあい / 介護タクシーゆうあい / 小島新開の家デイサービスセンター / 小島新開の家デイサービス事業所 / 認知症対応型共同生活介護グループホームふきのとう / 小規模多機能型居宅介護ふきのとう

発行 社会福祉法人 広島友愛福祉会 大竹市玖波4-8-8 TEL 0827-57-7500 発行責任者 立山 道男



フィリピン介護福祉士候補者受入れについて



開講式:ひろしま国際プラザ

2009年に入り、日本・フィリピン経済連携協定に基づき、看護・介護の分野におけるフィリピン人看護師（候補者）、フィリピン人介護福祉士（候補者）を受け入れる枠組みがスタートしました。当会は2009年1月に標記受け入れについての説明会に出席し、正式に国際厚生事業団（JICWELS）を通じて求人側施設としてエントリーしました。一方求職側の現地での窓口としては、フィリピン海外雇用庁（POEA）にて求職者のセレクト（選定）を行っています。その後、具体的に求人希望者側と受け入れ施設側のマッチングに参加することとなりました。POEAより300名余りのリストが届き、求職希望者の年齢をはじめとした適性検査の結果表、成績証明書、JIKWELSが面接した際の考課ランクが添付されてお

りました。第1次マッチングにて希望した方々については残念ながら不成立でした。続いて第2次マッチングが実施され当会を希望した2人とマッチングし、受け入れが確定しました。当会と

マッチングした二人を含め西日本地区で就労予定の49人の方々は、5月11日に「ひろしま国際プラザ」（東広島市）に到着し、6か月間の日本語研修含めて日本文化適応研修、専門導入研修を受けております。この研修は11月10日に終了し、いよいよ実地研修が始まります。当会で勤務希望のお二人も生活基盤を大竹市に移し、これから3年間のうちに日本の介護福祉士国家試験を合格するための訓練、学習をしていくこととなります。現在一番不安に感じ



ているところは、日本語能力です。日常のコミュニケーションはカタコト言葉ではありますがある程度は身につけているようです。しかし、国家資格試験の

文章の読解力を身につけるための学習を引き続いて当会で提供していく必要があります。3年後には2人とも介護福祉士の試験に見事合格し、引き続いてゆうあいホームのスタッフとして活躍できるよう支援していきたいと思っております。（施設長 立山 道男）

